

マスコット投票通信

Vol.7

フランス パリ日本人学校 小学部

学校紹介

パリ日本人学校はフランスにあり、全校児童152人、各学年1学級ずつの小学校です。

フランスは近代オリンピックの基礎を築いたピエール・ド・クーベルタン出身地であり、5回もの開催歴があるオリンピックと関わりが深い国です。また、東京2020大会の次期開催予定国でもあります。

1月19日（金）に全学級でマスコット投票を行いました。本校の子どもたちは、フランスに住む日本人として、オリンピック・パラリンピックに対して関心を深め、意欲的に学習に取り組んでいます。また、普段から海外の方たちとふれ合う機会が多いことから、オリンピック・パラリンピックについては、世界の中での日本の在り方や世界の方たちとつくり上げる大会といったグローバルな視点をもって学びを深めています。

授業の流れ

事前授業・・・15分

- オリンピック・パラリンピックについて学びました。
「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料 (DVD)の活用
教師による補足と指導

本時授業・・・45分+45分

導入15分

- マスコット3案について学びました。
「各マスコットの紹介動画」の活用

展開60分

その①

- 学級の話し合いで「仮決定」をしました。
意見交流・全体討議・グループ討議

その②

- 北京2008年大会、ロンドン2012大会の銀メダリストで日本フェンシング協会会長の太田雄貴さんから「オリンピックのお話」を聞きました。

その③

- 学級の話し合いで「本決定」をしました。
意見交流・全体討議

まとめ15分 ○「本決定」したマスコットに対する願いや決定理由などを全体で確認しました。

投票の様子



学級の話し合い「仮決定」
グループ討議の様子



学級内にて決定後、
太田雄貴さんを囲んで記念撮影

児童からの感想

- ・最初の話し合いのときは日本の文化を大切にしたいと思い、日本の文化だけしか考えていませんでした。でも、太田雄貴さんやクラスの人々の意見を聞いて、みんなと協力することの大切さや、世界から多くの人があるということも考えて選びました。

先生方からの感想

- ・今回、どのようにマスコットを選定するかについては、私が主導するのではなく、児童たち自身に考えてもらいました。マスコット投票を通じて、児童たちの大きな成長につながったと思います。
- ・児童たちだけではなく、先生方にとっても非常に良い経験となりました。

マスコット投票時に活用した教材等

- ・スポーツ庁指導参考資料(DVD)
- ・東京2020組織委員会から提供された教材（プロフィールシート、ダウンロード可能な動画）